

(株) 島津製作所 瀬田事業所

2025 年度 環境報告書

2026 年 7 月 30 日

＜事業所概要＞

所在地 大津市月輪 1 丁目 8 番 1 号

事業所名 株式会社島津製作所 瀬田事業所

敷地面積 36,406.61 平方メートル

建築総延べ床面積 36,438.42 平方メートル

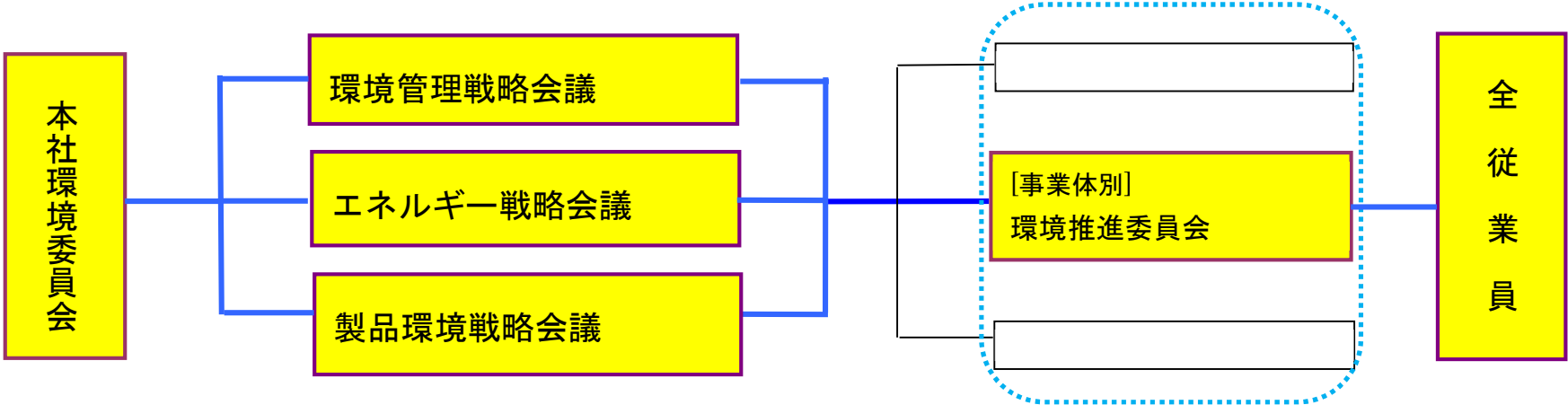
代表者 所長 松井 基幸

本社所在地 京都市中京区西ノ京桑原町 1 番地

＜主な事業所内企業＞

企業名 (株) 島津製作所 フルイディクス事業部 従業員数 31 名 営業品目 油圧ポンプ・油圧モーター 油圧バルブ等の企画・開発 本社所在地 京都市中京区西ノ京桑原町 1 番地	企業名 島津産機システムズ (株) 従業員数 194 名 営業品目 真空熱処理炉・歯車ポンプ ガラスワインダー・動的釣合試験 機の製造・販売 電動バルブアクチュエータの 設計・製造・サービス
企業名 島津プレシジョンテクノロジー(株) 従業員数 305 名 営業品目 油圧ポンプ・油圧モーター・ 油圧バルブ等の製造	その他常駐企業 6 社 従業員数 38 名 主な業務 運搬・警備・清掃他
企業名 島津ロジスティクスサービス (株) 従業員数 49 名 主な業務 製品出荷	

＜環境改善運動組織＞



<所長ご挨拶>

島津製作所は、事業活動に伴う環境負荷の低減と、社会の環境課題の解決に貢献する技術・製品の提供を通じて、持続可能な成長を目指しています。具体的には、環境関連法令の順守を徹底し、国際基準に沿った温室効果ガス排出量の算定・開示、ISO14001 認証の維持を進めます。また、製品使用時や調達段階での CO2 排出削減、再生可能エネルギーの導入などにより、カーボンニュートラルの実現に貢献します。あわせて、製品の再利用・再資源化や高リサイクル率の維持を通じて循環型社会の実装を進め、生物多様性保全活動にも取り組みます。これらの環境経営を強化し、地域社会との連携のもと、企業価値の向上を図ります。

当事業所は、油圧機器、産業機器、計測機器の3つの部門とその他関連部門を合わせた従業員数は本社に次ぐ大きな規模を有しています。当事業所全体で脱炭素社会や循環型社会への環境課題の解決を図っていくことにより、環境と調和した事業の成長と発展を目指した環境経営を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

今後も関係諸官庁および地域企業各位の一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

2026 年 7 月 30 日

株式会社島津製作所瀬田事業所 所長 松井 基幸



KK01-3011S
2026 年 4 月 1 日改訂

島津製作所 本社地区事業所および関連事業所 環境方針

1. 基本理念

島津製作所グループは、島津グループサステナビリティ憲章に掲げた「地球・社会・人との調和を図りながら、“事業を通じた社会課題の解決”と“社会の一員としての責任ある活動”の両輪で企業活動を行い、明るい未来を創造」することを目指し、環境経営を経営上の最重要課題の一つと置いて取り組みを進めている。環境経営を通じて、環境と調和した事業成長の実現と企業価値の向上を目指していく。

2. 基本方針

気候変動や環境汚染などのグローバルな問題に対し、当社グループは「人の命と健康」、「地球の健康」、「産業の発展」、「安心安全な社会の実現」を中心とした取組を進め、コンプライアンス順守と科学技術を通じた脱炭素・循環型社会の構築に向けたイノベーションの促進をベースとした環境経営を推進する。サステナブル経営の下、環境と調和した事業の成長と発展を目指した環境経営を通じて持続可能な社会の実現に貢献する。

- (1) 法令順守の徹底（不適合の未然防止）を目指し、国内外の法令・条例等の要求事項の順守を徹底する。
- (2) 脱炭素社会並びに循環型社会の構築に向けて、以下の項目について優先的に活動を推進する。
 - ① カーボンニュートラルや、サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブの実現に寄与する、分析・評価機器や技術の提供を行う。
 - ② エネルギーの有効利用や再生可能エネルギーの積極的利用を推進し、2050 年度の CO₂ 排出量実質ゼロの長期目標に向け取り組むことで気候変動への適応を図る。
 - ③ 製品使用時の CO₂ 排出量を 2020 年度比 30%削減する 2030 年度目標達成のため、当社の特に優れた環境配慮製品であるエコプロダクツ Plus を拡大すると共にすべての製品でライフサイクル全体を通じた環境負荷低減に取り組む。
 - ④ 持続可能な資源の利用、危険な廃棄物・有害化学物質や事業で使用する水の適正な管理を通じて、サプライチェーンも含めた循環型社会の形成などの環境保全に努める。
 - ⑤ 地域や教育機関・団体などと積極的に連携し、生物多様性・生態系保護のための森林保全活動や環境教育の実施などの社会貢献活動を幅広く展開する。
- (3) 環境マネジメントシステムの継続的な改善による環境パフォーマンス向上を通じて、組織および社会の持続的な環境負荷低減と環境汚染予防を目指す。
- (4) 従業員及び当社グループの数地内で働くすべての人が積極的に環境保全活動に取り組めるよう組織の整備や環境教育及び啓発活動を行う。
- (5) 基本方針に示した持続可能な社会の実現のため、ステークホルダーと積極的に連携・協業する。

株式会社島津製作所 環境委員長

渡邊 明

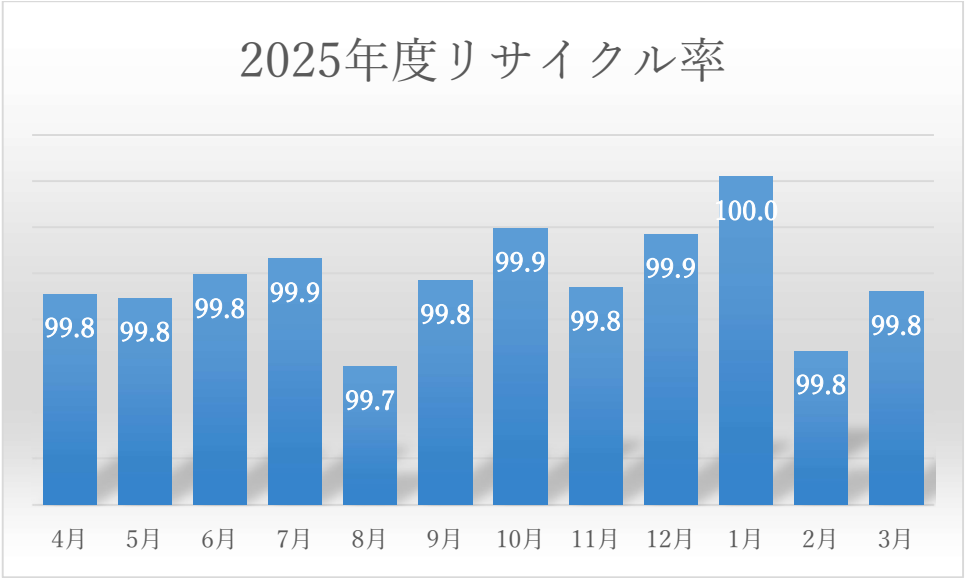
<2025 年度の主な環境改善活動>

- ・ 2025 年 3 月 2025 年度・環境改善計画を決定
- ・ 2025 年 4 月 環境自己行動宣言活動における自己評価の実施
- ・ 2025 年 4 月 ～ 10 月 環境マネジメントマニュアルにもとづく特別教育・緊急訓練および一般教育の実施
- ・ 2025 年 4 月 ～ 新環境改善計画にもとづく、全従業員による改善活動の実施
- ・ 2025 年 5 月 全面停電し、電気設備点検を実施
- ・ 2025 年 5 月 ～ 10 月 クールビズの実施
- ・ 2025 年 6 月 琵琶湖を美しくする運動市民清掃（事業所東側の養老川の清掃）
- ・ 2025 年 12 月 環境内部監査の実施

<2025 年度環境改善活動実績の一部>

廃棄物管理

2025 年度リサイクル率実績 平均 99.8%（2024 年度 95.5% 4.3%向上）



CO2 管理（エネルギー起因）

2021 年 7 月に 100%再生可能エネルギー由来の電力への切り替え完了。2025 年度も継続中。

琵琶湖を美しくする運動市民清掃（6/4）



事業所東側に隣接する河川（養老川）の清掃(2025 年度)

以 上